

■小野寺一彦氏（日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員）

道東の沿岸地域に構築されたトーチカ(防御陣地)は、どのような目的で構築されたのか？また現存する戦跡の重要性、価値の提言をいただきます。

メモ



七月十四・十五日は、八十年前に根室地域で空襲・襲撃があった日。

過去を知り・未来を考える

道東地域の戦時下

戦後八十年・フォーラム



【第1部：座学】

日時：2025年7月15日（火）18時～20時

場所：中標津町総合文化会館 コミュニティホール

講師：境 智洋氏（北海道教育大学釧路校 教授）

小野寺一彦氏（日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員）

【第2部：戦跡見学会】（10月末～11月上旬を予定）

中標津町内の戦跡を実際に訪ね、より具体的・体感的に理解を深めます。

主催：中標津しるべつなぎ会・中標津町教育委員会 協力：根室空襲研究会

問合先：中標津町教育委員会社会教育課学芸係（直通）電話番号0153-74-0175

本事業は、令和7年度地域文化財総合活用推進事業(地域文化遺産・地域計画等)【文化芸術振興補助金】の助成を受けています。

■開催趣旨

2025年は戦後80年という大きな節目の年にあたります。この機会に、地域住民のみなさんが戦争の記憶や平和の大切さを見つめ直す場として「戦後80年をテーマにした集い・戦跡見学会」を開催します。

中標津町には、現在も戦時の面影を残す戦跡が存在しています。これらの遺構は、戦争の悲惨さと地域の歴史を伝える貴重な文化財です。本企画は「座学」と「戦跡見学会」の2部構成で、地域の戦争体験や戦跡の歴史的価値に触れ、後世に継承するきっかけになればと考えています。

■プログラム

- 18:00 開会 朗読
- 18:15 開会挨拶
- 18:25 我がふるさとが燃えた日～根室空襲を語る
- 18:45 境智洋氏 話題提供
- 19:20 小野寺一彦氏 話題提供
- 19:50 質疑応答
- 20:00 終了

メモ

■境 智洋氏（北海道教育大学釧路校 教授）

標津線を走る列車はいつ・どこで・どのように襲撃されたのか？についてご講話いただきます。

メモ